

松浦市長のスマイルバトン

９月湖南市議会定例会一般質問で「市では、災害発生時のかなり詳細な計画が定められている」と評価いただいた一方で、「計画どおり、災害時に本当に動くことができるのか」というご指摘もいただきました。

10月４日に市総合防災訓練を実施しました。各地域でも住民避難訓練などを実施いただきましたが、市役所においては「今後１週間から１か月以内に自宅や避難所で暮らす被災者が安心し、安全な環境で生活できるようにする」ことを目標とした、シナリオのない災害対策本部会議運営訓練や、状況予測型災害対応訓練を実施しました。また、２箇所で職員による避難所設営についての訓練を実施。今後、断水や停電、ペットを連れた避難など、さまざまな場面を想定した訓練の実施も必要であると考えています。

大規模災害に対応された市町村長の言葉に「机上でも関係者と議論を積み重ねること」「シミュレーションを徹底的に」「いざというときに名刺を交換しているようではダメ」とあります。実際に経験された首長の重い教訓から、平常時の取組を、ますます強化することも必要だと感じました。

併せて、能登半島で発生した地震や豪雨災害後の報告書には、「ご近所同士でのコミュニケーションは、災害対応において何より大きな力である」とあります。各地域で工夫し実施いただいた訓練は、心強い取組です。

私の住む地域では、10年ぶりに「焼肉パーティー」が復活しました。寄れる者が寄れるときに寄るという緩さでの集まり。心地よい集まりです。こういった普段からの集まりが「いざ！」というときの力になると思っています。